



大腸がん検診のおかげ

藤沢 光夫さん（鶴飼）

数年前、村の大腸がん検診で検査必要の通知のおかげで手術し、大事なく済みました。今は、基本健診も有料の上にも、個人で行かなければならないので、つい行かずじまいになることもあると思うと心配です。

福祉バスも有料になり、今まで利用していたが回数を減らしています。今年から、敬老会に呼ばれる年になりましたが、もっと福祉の充実を考えないと、これからの若い世代も大変になるのではないかと思います。



健康・福祉の充実

健やかに暮らす

主な事業

(千円以下切り捨て)

●多重債務者支援	6,400 万円
●福祉タクシー助成事業	194 万円
●日常生活用具、補装具給付事業	1,655 万円
●高齢者・障害者住宅改造助成事業	535 万円
●施設訓練等支援費支給事業	2 億 1,745 万円
●介護予防・生活支援事業	1,892 万円
●睦大学開催事業	280 万円
●滝沢相の沢温泉管理運営事業	5,917 万円
●高齢者筋力強化支援事業	219 万円
●妊産婦医療費給付事業	3,097 万円
●放課後児童健全育成事業	4,700 万円
●のびのび保育支援事業	1,060 万円
●乳幼児・母子家庭医療費給付事業	8,415 万円
●成人保健（健康診査、胃腸病検診など）	7,415 万円
●婦人病検診	1,294 万円

- 消費者行政推進事業（多重債務者の救済）の
 続は。
- 問 129件となっており年々増加傾向にあります。貸付枠総額を2億5,600万円で運用しています。貸付利率は9.5%となっています。
- 答 子育て支援短期利用事業の内容は、保護者が冠婚葬祭などで子どもの保育ができない時に施設に預け、利用者が料金の2分の1を負担し、行っている事業です。
- 問 基本健康審査を個別受診にした影響はあったか。
- 答 受診者が前年に比べ減少しました。要因は周知不足だったと考え、今後さらに周知を図っていきます。また、がん検診などは従来どおり集団検診を実施しています。

- 問 お山の湯の利用者が減少してきているがその要因は。
- 答 景気の落ち込み、岩手山の入山規制、源泉の変化などによると思われるが、現在はお湯の色も以前に戻ってきており利用者も増えてきています。料金に関しては、指定管理者制度とともに検討していきます。
- 問 福祉バス有料化の影響は。
- 答 バス利用者は睦大学にみえている方々ですが、出席者数への影響はありません。また利用者の理解も得ていると考えています。

ここが知りたい

16年度決算総括

- 問 今後、投資的経費をどのように予算化していくのか。
- 答 住民ニーズが一番多いのは道路整備です。しかし現在の財政状況の中、新規路線は2路線だけの整備を実施しております。今後は住民ニーズをいかに把握し政策に転換していくかの議論やマーケティングが必要と考えています。
- 問 16年度決算の評価は。
- 答 住民の方々のご理解や職員の意識改革、予算編成に対する考え方の改善など、他の市町村に先駆けて危機感を持ち、事務事業を根本から改めることになった決算であると思っています。